

先進技術の普及・確立と優良品種導入による産地再編（カンキツ）

【要 約】

八女地域におけるカンキツの高品質果実の安定生産を進め、ブランド商材の増加を図るため、地帯に適した品種・系統の調査と改植による品種更新を支援した。

また、高品質果実生産に欠かせないシートマルチ・マルドリ栽培法の試験を行い、その知見を元に技術確立を支援した。

その結果、果樹支援対策事業を利用した優良品種・系統への導入が進むと同時に、ブランド商材の出荷割合が増加した。

【目 的】

JA 八女かんきつ部会は、平成 21 年の選果場の統合・新設によって集荷・販売が一本化された。しかし、元来別部会であったため、各地域で導入品種が異なり、集荷・販売上の不都合が生じていることから、地帯に適した品種に更新し、品種構成の集約を図る必要がある。

また、「華たちばな」等のブランド商材は高単価で取引されているため、シートマルチ栽培や近年導入された「マルドリ栽培」等の先進技術確立と導入促進を図り、ブランド商材の安定生産を図る必要がある。

1 活動対象の概況

JA 八女かんきつ部会（平成 24 年度：概数）

部会員数 430 名 栽培面積 484ha

生産量 9,938t 販売額 16.3 億円

2 活動の内容等

（1）先進技術の普及確立

「北原早生」のマルドリ栽培における灌水管理法について展示ほを設置し、調査を行い、高糖度果実生産法を確立した。

また、上記調査で得られた知見を基に、研修会や講習会および巡回指導を通して、他品種のマルドリ栽培や通常マルチ栽培での管理指導を行った。

（2）優良品種導入推進

ブランド化に向けて、新品種「早味かん」、「福岡 20 号」等の生育調査、品種登録支援および優良品種の導入推進に向けた研修会や講習会等を行った。

（3）園地整備への活動

栽培管理研修会等を通して、補助事業等を活用した省力化・作業改善と新品種や有望系統の改植・推進を図った。

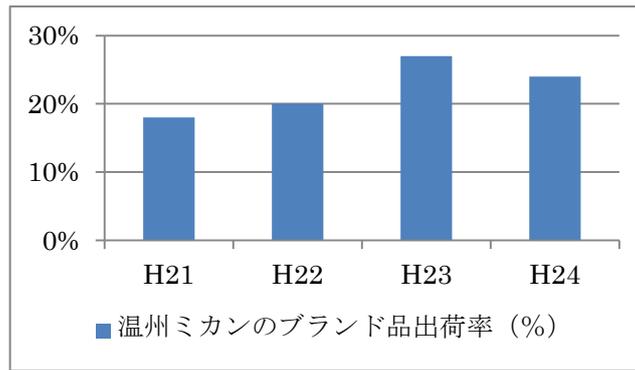


図1 温州ミカンのブランド品出荷率 (%) の推移



写真1 マルドリ栽培状況



写真2 園地整備 (立花町兼松)

3 活動の成果

(1) 先進技術の普及確立

灌水管理技術などマルドリ栽培基準を定めることができた。

また、優良品種・系統の導入が進み、ブランド商品の出荷率は平成21年と比較し、6～9%増加した。(図1 写真1)。

(2) 優良品種導入推進

果樹支援対策事業を活用した改植や園地整備が進み、県推奨品種への更新と園地改良を実施した園地が増加し、園地整備面積は15.2haまで拡大した(写真2)。

4 今後の見通し又は課題

マルドリ栽培等高糖度高品質果実生産技術の経営的評価法と普及促進を図る。

基盤整備、園地改良や省力化技術の導入による生産基盤の強化を行う。

多様化する販売チャンネルに対応した生産の支援を行う。

早味かん、福岡20号、北原早生等新品種の高品質安定生産技術の検討、指導を行う。

課題名：先進技術の普及・確立と優良品種導入による産地再編 平成22～25年度